

【あ行】

- アメニティ環境・・・数量でとらえにくい歴史的環境や、自然景観などにも配慮した快適な環境のこと。
- インターチェンジ・・・道路の交差部が立体になり、円滑に進行できるようになっているもの。
- イントラ・・・社内等、限定された範囲で構築されたコンピュータネットワークのこと。
- インフラ・・・インフラストラクチャの略で、基盤となる施設のこと。

【か行】

- ガス化直接溶融炉方式・・・ごみを燃焼させる方法の一種で、省スペースで資源価値が高い金属を回収することができるのが特徴。
- 家庭内暴力・・・DV(ドメスティックバイオレンス)の一種で、パートナー(配偶者、恋人など)への暴力をいう。
- 家電リサイクル法・・・家庭などから排出された家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機)から、有用な部分をリサイクルし、廃棄物を減らし、資源の有効利用を推進するための法律。
- 環境保全型農業・・・環境にやさしい農業のことで、生産性を維持しながら環境負荷の軽減に配慮する新しい試み。
- かんよう涵養・・・水が自然にゆっくりと染み込むように、無理をしないでゆっくりと養い育てること。
- 機関委任事務・・・平成12年に廃止された、国の事務を地方自治体に委任していた事務のこと。地方自治体には何ら発言権がなく、地方分権を妨げる一因と指摘されていた。
- 給食残滓ざんし・・・学校給食のごはん・おかずなどの食べ残しや、食材の野菜の皮などの残りがすのこと。
- きようあい狭隘・・・狭くゆとりのない様子のこと。狭隘道路など。
- 行政主導型・・・地域や地方の運営を、行政が中心となって行う方式。
- 金融危機・・・金融に端を発する経済危機のことで、2008年には米国の住宅バブル崩壊により全世界に危機が波及した。
- 草野又六・・・江戸時代、久留米藩の命を受け工事総監督として床島堰の工事に従事した人物。
- クリーンエネルギー・・・風力、太陽光など、大気汚染物質を発生させないエネルギーのことで、地球温暖化を防ぎ省エネにつながることから活用が期待されている。
- グリーンツーリズム・・・農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。
- クリーンディーゼル車・・・窒素酸化物などの大気汚染物質の排出量が少ないディーゼル車のこと。
- 経済成長率・・・GDP(国内総生産)がどれだけ増えたかをパーセントで表したもの。

- 経常収支比率・・・人件費などの常にかかる経費に、町税、地方交付税等の収入が充当されている割合のこと。数値が低いほど、財政の弾力性(余裕)があることを表す。
- 警固断層・・・玄界灘から筑紫野市付近へ伸びる、長さ約55kmの活断層。福岡県西方沖地震の原因となったとされる。
- 健康増進法・・・国民の健康維持と現代病予防を目的として制定された法律で、関係機関の協力や、メタボリックシンドローム該当者への特定保健指導について規定している。
- 光化学オキシダント・・・大気中の窒素酸化物が太陽光線により化学反応を起こし発生する汚染物質のこと。
- 後期高齢者医療制度・・・平成20年4月にスタートした75歳以上の高齢者を対象とする新しい医療制度のこと。
- 合計特殊出生率・・・一人の女性が一生のうちに生む子ども数のこと。
- 洪積層・・・氷河堆積物により形成された地層で、水はけがよく地盤沈下や液状化しにくい性質をもつ。
- 高付加価値型農業・・・有機栽培・無農薬による品質向上など、様々な農作物の価値を高める取り組みを通じて生産性・収益性を向上させる農業手法のこと。
- 国土利用計画・・・土地の利用に関する行政の指針となる計画で、都市計画、農振計画などをとりまとめる役割をもつ。
- 米政策改革大綱・・・米づくりのあるべき姿を実現するための取組みと、関係者の協力について定めた計画のこと。

【さ行】

- 三位一体の改革・・・国庫支出金の削減、税源移譲、地方交付税の見直しを内容とする小泉内閣の改革のこと。
- 次世代育成支援行動計画・・・法律に基づいて、子育て家庭などへの支援施策の方向性や目標を総合的に定めたもの。
- 指定管理者制度・・・かつて行政しか行えなかった公の施設の管理運営を、株式会社などの営利企業や財団法人などの団体に包括的に代行させることのできる制度。
- 住基人口・・・住民票をまとめた台帳(住民基本台帳)による人口。
- 住民自治型・・・行政主導型に対して、地域住民の意思と責任に基づいて地域運営を行っていくこと。
- 集落営農組織・・・集落単位で農家が各自の農地を持ち寄り、共同で農機具を所有したり農作業を行ったりする組織のこと。
- 情報セキュリティポリシー・・・組織における情報資産のセキュリティ(安全)対策について、体制や運用を定めた規定。
- たかやまろくえもん
高山六右衛門・・・江戸時代の御井郡の庄屋で、他の庄屋らとともに筑後川の床島堰(恵利堰)の築造に尽力した人物。

- 食育推進基本計画・・・心身の健康の基礎となる食生活について、様々な指導教育・普及を促進していくための計画。
- 新エネルギー・・・太陽光や風力など、石油に代わって活用が期待される新しいエネルギーのことで、特別に法律に定められている。
- シンポジウム・・・一つの問題について、数人の人が意見を発表し、それについての聴衆の質問に答える形で行われる討論会のこと。
- 生産年齢人口・・・一般的に生産活動に従事する年齢層(15歳~64歳)の人口のこと。
- セーフティネット・・・危険に備えるための安全網のことで、ひろく社会保障などの分野で使われる言葉。
- セキュリティ・・・安全・防犯をあらわす言葉。
- セクシャル・ハラスメント・・・労働や教育などの場において、性的な意味合いを持つ言動や行動などによって相手に不快感を与えること。
- セットバック・・・道路に接している敷地で、道路の境界線を後退させること。
- 総合型地域スポーツクラブ・・・いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツを楽しむことが出来る社会を実現するために、地域住民が主役となって自ら運営・管理をする新しいスポーツクラブのこと。

【た行】

- ダイオキシン・・・きわめて強い毒性をもつ有機塩素化合物のことで、ごみの焼却過程で発生するとされている。
- ダンボールコンポスト・・・家庭から出るゴミに土を混ぜ、段ボール箱の中で発酵させてできる堆肥のこと。簡単にできるエコの取組みの一つとして注目されている。
- 地域包括支援センター・・・地域住民の保健福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防支援とを総合的に行う機関のことで、介護保険法に規定されている。
- 地方交付税・・・法人税や所得税等の一部を財源として地方公共団体に配分される交付金のこと。自治体間の格差を是正するはたらきがある。
- 地方自治法第180条の5に基づく委員会・・・教育委員会や選挙管理委員会など、執行機関として、法律により設置が義務付けられている委員会等のこと。
- 地方自治法第202条の3に基づく審議会・・・「〇〇審議会」のような、法や条例などで設置することのできる附属機関のこと。
- 地方分権一括法・・・地方分権を進めるため、財源移譲や国による関与の緩和などを盛り込んだ法律改正を行う法律。
- 地方分権・・・今までのように国が全国一律の基準を定め指導するという体制ではなく、地方が、自ら権限と責任をもって特色ある地域づくりを行えるようにすること。

- 沖積層・・・河川の下流部に堆積した土砂によって形成された地層で、平坦で湿地が多いとされる。
- 超高齢社会・・・高齢化率(65歳以上の人口が総人口に占める割合)が20%を超える社会のこと。
- テーマコミュニティ・・・ある特定の分野に特化した活動を目的とした自主的な集まりのこと。
- 都市近郊型農業・・・大都市の周辺で行われる農業で、主として野菜や花などの商品作物の栽培を行うことが多い。
- 都市計画・・・土地の使い方や建物の建て方についてのルールなど、まちづくりに必要な事柄を総合的に定めた計画のこと。
- 都市計画マスタープラン・・・都市づくりの将来ビジョンを示し、それぞれの都市計画の指針とする計画。

【な行】

- ニーズ・・・必要、要求、需要のこと。
- 認定農業者・・・意欲と能力のある農業者が、経営を計画的に改善するため計画を策定し、それを市町村が認定する制度で、国や県などから様々な支援が受けられる仕組みとなっている。
- ネットワーク化・・・網の目のように互いに結びつき、情報などをやり取りできるようにすること。
- 農業経営基盤強化促進法・・・効率的・安定的な農業経営の育成を図るため、農用地の集積や経営管理の合理化を促進するための措置を総合的に講じることを定めた法律。
- 農業集落排水事業・・・農村地域において、農業用排水、生活雑排水の循環利用を行うための施設整備などを行う事業。
- 農業粗生産額・・・稲作、野菜栽培、養蚕、畜産などによって得られた農畜産物と、それを原料として作られた加工農産物を販売して得られた利益額のこと。
- 農村地域工業等導入計画・・・農業と工業の均衡ある発展を目的に制定される計画で、企業誘致を促進する効果がある。
- ノーマライゼーション・・・誰もが等しくふつうの生活を送れる社会こそ正常である、という考え方。

【は行】

- パートナーシップ・・・協力、共同関係のこと。
- バイオテクノロジー・・・生体機能を活用して素材を処理する科学技術、ないしその技術体系の通称。
- バイオマス・・・再生可能な生物由来の有機物の中で、カーボンニュートラル(二酸化炭素の量を増加させないこと)な性質をもっている。

- バイパス・・・迂回路のこと。
- ハザードマップ・・・自然災害などの被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。
- バリアフリー・・・あらゆる障壁を取り除き、あらゆる人が快適に社会参加できるようにすること。
- ビジョン・・・将来の見通し、構想、未来像のこと。
- 病院群輪番制・・・地域内の病院群が共同連帯して、順番で休日・夜間等における重症救急患者の入院治療を実施する体制のこと。久留米地域医療圏15病(医)院にて実施する。
- ブロードバンド・・・高速な通信回線の普及によって実現される次世代のコンピュータネットワークと、その上で提供される大容量のデータを活用した新たなサービス。
- ブロックローテーション・・・水田の転作作物の生産性を向上させるため、地区全体を数ブロックに区分し、順次、移動させる集団転作の方法。

【ま行】

- マニフェスト・・・選挙の際に政党や候補者などが示す政権公約、選挙公約のこと。
- マネジメントサイクル・・・目的を達成するために様々な計画を実行、評価し、次につなげていく仕組みのこと。
- マルチペイメントネットワーク・・・各種の料金・税金などの収納を行なう収納企業・公共団体と、各種金融機関とを繋ぐネットワーク。「いつでも・どこでも・かんたんに」支払いなどを行なえる体制。
- 水のう
水縄断層・・・久留米市にある断層で、日本書紀に記されている筑紫国地震の震源となった断層と考えられている。
- メタボリックシンドローム・・・内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態。
- モータリゼーション・・・自動車交通と、それを基盤とした生活様式の発達のこと。

【や行】

- ユニバーサル・デザイン・・・すべての人が使いやすいデザイン
- 用途地域・・・都市の環境を保つために、建築できる建物の種類や使い方(用途)の制限を定めたもの。

【ら行】

- ライフステージ・・・人の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。
- リサイクルシステム・・・ごみや不要物を資源として有効活用する仕組みのこと。

- 流域関連公共下水道事業 ・ ・ 下水道のうち、単一の最終処理場を持たず、最終処理を周辺の流域下水道にまかせる下水道のこと。
- レクリエーション ・ ・ 疲れの回復や相互融和を目的に行う余暇活動のこと。
- レセプト ・ ・ ・ ・ ・ 医療費の請求に用いられる、診療報酬請求明細書のこと。
- 高齢人口 ・ ・ ・ ・ ・ 高齢者人口に同じ。65歳以上の人口のこと。
- ローリング方式 ・ ・ ・ 施策、事業の見直しや部分的な修正を転がすように行っていく方式。
- ロマネスク風様式 ・ ・ ヨーロッパの建築様式のひとつで、今村カトリック教会にもその影響がうかがわれる。

【わ行】

- ワーキンググループ ・ 特定の問題の調査や計画の推進のため設けられた作業部会。
- ワークショップ ・ ・ ・ 参加者が問題解決のために行う研究集会。
- ワンストップサービス ・ 一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービスのこと。

【その他】

- 3R運動 ・ ・ ・ ・ ・ Reduce(削減)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)の頭文字をとった環境運動のこと。
- ICT ・ ・ ・ ・ ・ インフォメーション&コミュニケーションテクノロジー(情報通信技術)のこと。
- PFI ・ ・ ・ ・ ・ プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略で、公共施設等の建設、維持管理を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法で、コストの削減と公共サービスの質の向上を目指すもの。
- SNS ・ ・ ・ ・ ・ ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、インターネットを利用し、個人の間でのコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するサービスのこと。